

# 北海道・北東北「地域における文化の振興」

## 行動宣言

文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであります。

特に、人口減少が進む北海道・北東北地域においては、それぞれの道県に住む人々が、各々の「地域」で暮らすことにプライドを持つことが重要であり、そのためには、地域文化の独自性や価値を改めて見直すことが、極めて有意義であります。

また、それぞれの地域が文化的共通性を生かし、一体となって手を携え、こうした文化の独自性を内外に発信し、拡げていくことが重要です。

そのため、地域の伝統文化を大切に保存し伝えるとともに、新しい文化を創造し、さらに、文化の担い手を育成していくことが、これからの社会において、ますます重要であることから、4道県が連携し、文化の振興に取り組んでいく必要があります。

北海道及び北東北三県は、このような認識を共有し、下記に掲げる事項について合意し、行動していくことを宣言します。

### 記

#### 1 地域の伝統文化の振興と文化財等の活用

##### (1) 伝統芸能等の次世代への継承

ブロック別民俗芸能大会の開催等に併せ、地元の課題や成功事例の共有・意見交換の場を設けることにより、後継者育成やPR方法など、伝統芸能等が直面している課題対応への基盤づくりを進める。

##### (2) 文化的資産のPR方策の検討

文化的資産について、厚みのある地域特性を紹介するため、重要伝統的建造物群保存地区、建造物（社寺、近代化遺産等）、記念物（庭園等）、民俗文化財等のジャンル別に4道県の資産をPRする方策等を検討する。

##### (3) 美術館を活用した美術教育の充実

美術館を活用した美術教育の充実を図るため、取組が進んでいるフランスの例などを参考にしながら、北海道・北東北3県が協働して美術館の教育普及に携わる職員の研修機会を設けるなど、人材の育成を図る。

## 2 多彩な文化芸術等の発信

### (1) メディア芸術等アートに関する事業の推進

若者を中心に広く国民に親しまれ、海外からも注目を集めているメディア芸術などのアートに関する事業について、事業企画や実施への相互協力やアーティストの相互参加を促進し、事業の魅力アップや国内外へのインパクトのあるPR活動を行う。

### (2) 「北海道・北東北の縄文遺跡群」を活用した地域の魅力づくり

#### ① 縄文遺跡群説明コース等の検討

北海道・北東北三県で世界遺産登録を目指して取り組んでいる「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、18の構成資産を連結する説明コースやそのPR方法を検討する。

#### ② 4道県の遺跡活用団体の連携・ネットワーク化の促進

各団体が相互に連携し、見学者への対応力向上に向けた課題や遺跡の活用方法などの情報共有を図る。

平成26年9月2日

北海道知事	高橋	はるみ
青森県知事	三村	申吾
岩手県知事	達増	拓也
秋田県知事	佐竹	敬久